

# テックドクターによる現地診断(福岡県飯塚市忠隈)

平成25年度に下り車線側道下法面で表層崩壊を確認、降雨時には更に進行し歩道、車道に変状が発生する可能性があった為、植生シート工にて処置を行った。

「要対策」箇所であるため、今後の対応策検討の為テックドクターに現地診断をしていただき、意見を伺った。

出席者:九州工業大学 永瀬名誉教授、廣岡教授、北九州国道事務所

## ● テックドクターによる現地診断(令和5年5月11日)



### 【テックドクターの見解】

- 対策工が完了したことで、「要対策」から「経過観察Ⅱ」へ移行しても良い。
- 現在、法面に灌木類が繁茂するため、伐採等のメンテナンスが必要。
- 法面小段の排水溝の清掃を定期的 to 実施し、維持管理を行う。

「要対策」から「経過観察Ⅱ」へ移行